



# ローム株式会社 2021年3月期 第2四半期決算概要

(2020年4月1日から2020年9月30日まで)

2020年10月29日

## 1. 連結業績

(百万円未満切捨て、その他は単位未満四捨五入)

		21/3期実績		20/3期実績		対前年同期増減		20/3期実績	21/3期計画(注)1	
		第2四半期 累計期間	第2四半期 累計期間	額	率	通期	通期	対前期 増減率		
売上高	百万円	168,049	188,834	-20,785	-11.0%	362,885	340,000	-6.3%		
売上原価	百万円	115,882	130,433	-14,551	-11.2%	251,125	237,700			
販売費及び一般管理費	百万円	39,479	40,630	-1,151	-2.8%	82,269	79,300			
営業利益	百万円	12,687	17,771	-5,084	-28.6%	29,489	23,000	-22.0%		
		(7.5%)	(9.4%)	(-1.9%)		(8.1%)	(6.8%)			
経常利益	百万円	11,799	18,824	-7,025	-37.3%	35,774	23,000	-35.7%		
		(7.0%)	(10.0%)	(-3.0%)		(9.9%)	(6.8%)			
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	12,527	13,713	-1,186	-8.7%	25,632	19,000	-25.9%		
		(7.5%)	(7.3%)	(+0.2%)		(7.1%)	(5.6%)			
( )内は売上高比率										
1株当たり四半期(当期)純利益	円	127.36	131.23	-3.87	-2.9%	247.66	193.37			
自己資本当期純利益率	%					3.5				
総資産当期純利益率	%					3.0				
1株当たり純資産	円	7,381.84	7,305.67	+76.17	+1.0%	7,185.83				
E B I T D A (注)2	百万円	32,048	38,918	-6,870	-17.7%	73,817				
設備投資額	百万円	11,929	15,868	-3,939	-24.8%	38,941	46,000	+18.1%		
減価償却額	百万円	19,360	21,146	-1,786	-8.4%	44,328	41,300	-6.8%		
研究開発費	百万円	15,996	16,466	-470	-2.9%	33,384	31,600	-5.3%		
為替差損益	百万円	(損) 2,669	(損) 2,201	(損) 468		(益) 401				
為替レート(US\$期中平均レート)	円/US\$	106.74	109.00	-2.26	-2.1%	109.10	105.94			

(注) 1. 計画値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 営業利益に減価償却費を加えて算出しております。

問合せ先 〒 615-8585 京都市右京区西院溝崎町 21番地 (075)311-2121  
ローム株式会社 IR室

1. 連結業績(つづき)

(百万円未満切捨て、その他は単位未満四捨五入)

			21/3期実績	20/3期実績	対前年同期増減		20/3期実績	21/3期計画				
			第2四半期 累計期間	第2四半期 累計期間	額	率	通期	通期	対前期 増減率			
セグメント別地域別売上高 (注)												
L	S	I	百万円	78,605	88,889	-10,284	-11.6%	170,432	159,332	-6.5%		
	( 国 内 )			(35,282)	(38,623)	(-3,341)	(-8.7%)	(71,671)	(70,004)	(-2.3%)		
	( ア ジ ア )			(36,861)	(43,511)	(-6,650)	(-15.3%)	(84,821)	(75,622)	(-10.8%)		
	( ア メ リ カ )			(3,945)	(3,956)	(-11)	(-0.3%)	(8,030)	(7,932)	(-1.2%)		
	( ヨ ー ロ ッ パ )			(2,516)	(2,797)	(-281)	(-10.1%)	(5,908)	(5,772)	(-2.3%)		
半	導	体	素	子	百万円	65,432	71,174	-5,742	-8.1%	139,038	133,148	-4.2%
	( 国 内 )			(19,964)	(22,905)	(-2,941)	(-12.8%)	(45,490)	(42,272)	(-7.1%)		
	( ア ジ ア )			(36,592)	(37,947)	(-1,355)	(-3.6%)	(73,239)	(71,483)	(-2.4%)		
	( ア メ リ カ )			(3,214)	(4,479)	(-1,265)	(-28.2%)	(8,579)	(7,385)	(-13.9%)		
	( ヨ ー ロ ッ パ )			(5,659)	(5,840)	(-181)	(-3.1%)	(11,728)	(12,007)	(+2.4%)		
モ	ジ	ュ	ー	ル	百万円	15,126	18,311	-3,185	-17.4%	33,275	28,282	-15.0%
	( 国 内 )			(3,340)	(4,797)	(-1,457)	(-30.4%)	(8,699)	(7,005)	(-19.5%)		
	( ア ジ ア )			(10,112)	(11,793)	(-1,681)	(-14.3%)	(21,264)	(17,917)	(-15.7%)		
	( ア メ リ カ )			(669)	(667)	(+2)	(+0.3%)	(1,248)	(1,328)	(+6.4%)		
	( ヨ ー ロ ッ パ )			(1,004)	(1,053)	(-49)	(-4.6%)	(2,063)	(2,031)	(-1.5%)		
そ	の	他	百万円	8,885	10,460	-1,575	-15.1%	20,139	19,235	-4.5%		
	( 国 内 )			(1,466)	(1,822)	(-356)	(-19.6%)	(3,579)	(3,525)	(-1.5%)		
	( ア ジ ア )			(5,915)	(6,479)	(-564)	(-8.7%)	(12,361)	(12,130)	(-1.9%)		
	( ア メ リ カ )			(652)	(934)	(-282)	(-30.2%)	(1,799)	(1,565)	(-13.0%)		
	( ヨ ー ロ ッ パ )			(851)	(1,223)	(-372)	(-30.4%)	(2,398)	(2,014)	(-16.0%)		
合	計	百万円	168,049	188,834	-20,785	-11.0%	362,885	340,000	-6.3%			
	( 国 内 )			(60,053)	(68,150)	(-8,097)	(-11.9%)	(129,440)	(122,807)	(-5.1%)		
	( ア ジ ア )			(89,481)	(99,732)	(-10,251)	(-10.3%)	(191,686)	(177,153)	(-7.6%)		
	( ア メ リ カ )			(8,481)	(10,037)	(-1,556)	(-15.5%)	(19,659)	(18,212)	(-7.4%)		
	( ヨ ー ロ ッ パ )			(10,031)	(10,915)	(-884)	(-8.1%)	(22,098)	(21,826)	(-1.2%)		

用途別売上構成比

民	生	%	34.7	33.0	+1.7	32.2			
通	信	%	8.1	8.4	-0.3	8.3			
自	動	車	%	31.7	34.6	-2.9	36.1		
産	機	%	13.6	12.2	+1.4	12.0			
事	務	機・電	算	機	%	11.9	11.8	+0.1	11.4

用途別の主な最終製品は次のとおりであります。

民	生	テレビ、ビデオカメラ、オーディオ、電子レンジ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、空気清浄機、デジタルスチルカメラ、ゲーム機、電子楽器、電子タバコ、ドローンなど	
通	信	スマートフォン、FAX、ウェアラブル機器(医療機器を除く)など	
自	動	車	エンジンコントロールユニット、エアバッグ、カーナビゲーション、カーオーディオ、ADAS関連など
産	機	医療機器/健康機器、計測器、工作機械、自販機、太陽光発電、スマートメーター、セキュリティ機器、通信インフラ、クラウドサーバーなど	
事	務	機	PC、PCサーバー、タブレットPC、プリンタ、複写機、データストレージ(DVD、HDD、半導体メモリ)、モニタ、各種端末装置など

(注) 上記の売上高は外部顧客に対するものであります。

## 2. 関連情報

(百万円未満切捨て、その他は単位未満四捨五入)

		21/3期実績	20/3期実績	対前年同期増減		20/3期実績	21/3期計画										
		第2四半期 累計期間	第2四半期 累計期間	額	率	通期	通期	対前期 増減率									
<b>セグメント別設備投資額</b>																	
L	S	I	百万円	4,934	3,682	+1,252	+34.0%	8,550	16,100	+88.3%							
半	導	体	素	子	百万円	4,346	7,507	-3,161	-42.1%	22,001	21,800	-0.9%					
モ	ジ	ユ	ー	ル	百万円	803	623	+180	+28.9%	1,922	2,300	+19.6%					
そ	の	他		百万円	668	2,173	-1,505	-69.2%	2,735	1,900	-30.6%						
販	売	・	管	理	等	共	通	部	門	百万円	1,176	1,881	-705	-37.5%	3,731	3,900	+4.5%
合	計		百万円	11,929	15,868	-3,939	-24.8%	38,941	46,000	+18.1%							
株	主		数	人	25,204	25,660	-456	-1.8%	26,013								
			金融機関持株比率	%	27.15	29.00	-1.85		26.40								
			外国人持株比率	%	42.04	43.19	-1.15		40.40								
<b>グループ従業員数</b>																	
			国内	人	5,877	5,810	+67	+1.2%	5,693								
			海外	人	16,284	16,706	-422	-2.5%	16,498								
			合計	人	22,161	22,516	-355	-1.6%	22,191								
			(うち研究開発人員)	(人)	(2,850)	(2,928)	(-78)	(-2.7%)	(2,836)								
連	結	子	会	社	数	社	42	44	-2	43							
			(国内)	(社)	(9)	(10)	(-1)	(10)									
			(海外)	(社)	(33)	(34)	(-1)	(33)									
関	連	会	社	数	社	3	3	0	3								
			(うち持分法適用会社数)	(社)	(0)	(0)	(0)	(0)									
非	連	結	子	会	社	数	社	1	1	1							
			(うち持分法適用会社数)	(社)	(0)	(0)	(0)	(0)									



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月29日

上場会社名 ローム株式会社

上場取引所 東

コード番号 6963 URL <https://www.rohm.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 CEO (氏名) 松本 功

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 財務担当 兼 経理本部長 (氏名) 上原 邦生

TEL 075-311-2121

四半期報告書提出予定日 2020年11月4日

配当支払開始予定日

2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	168,049	11.0	12,687	28.6	11,799	37.3	12,527	8.7
2020年3月期第2四半期	188,834	10.4	17,771	49.8	18,824	57.4	13,713	55.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 25,584百万円 (405.7%) 2020年3月期第2四半期 5,059百万円 (87.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	127.36	122.97
2020年3月期第2四半期	131.23	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	853,474	724,905	84.9
2020年3月期	848,873	715,479	84.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 724,421百万円 2020年3月期 714,990百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		75.00		75.00	150.00
2021年3月期		75.00			
2021年3月期(予想)				75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	340,000	6.3	23,000	22.0	23,000	35.7	19,000	25.9	193.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	103,000,000 株	2020年3月期	110,000,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	4,864,423 株	2020年3月期	10,504,865 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	98,364,086 株	2020年3月期2Q	104,506,536 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	10

※ 補足説明資料としまして、「2021年3月期 第2四半期決算概要」を別途添付しております。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

#### 業績の全般的概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、前半は新型コロナウイルス感染症の蔓延が各国の生産・個人消費などを悪化させることにより減速しましたが、後半は中国の鉱工業生産が回復したことなどにより、回復の兆しが見え始めました。

エレクトロニクス業界におきまして、自動車関連市場や産業機器関連市場では、全体として市場は低迷しましたが、中国の新車販売台数で改善が見られました。また民生機器関連市場でも全体として市場は低迷しましたが、新型コロナウイルス感染症対策としてのライフスタイルの変化等による需要増が市場に対して好影響をもたらしました。

このような経営環境の中、ロームグループにおきましては、従来に引き続き、中長期的に成長が期待される自動車関連市場や産業機器関連市場などへの製品ラインアップの強化と、海外市場での販売体制の強化を進めました。また、「パワー」、「アナログ」及び「スタンダードプロダクツ」など、ロームグループが強みを持つ技術領域を中心とした新製品・新技術の開発に取り組みました。また、生産面においても、新設したSCM本部などを通じて、先進の品質管理体制の構築や省人化・自動化の推進など、「モノづくり改革」を継続して進め、加えてBCM（事業継続マネジメント）の観点からOSAT（※1）への生産委託などを進め、安定供給体制の強化に取り組みました。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大により一部の生産工場の稼働が制限を受ける中で、他拠点での代替生産や物流ルート確保などの供給維持対策を進め、業務効率改善と防疫対策の観点からリモートアクセス化などを強化しテレワークによる業務環境を整えました。

新型コロナウイルス感染症のサプライチェーンに対する影響としては、フィリピンやマレーシアの生産拠点において一時的な工場の稼働制限を受けましたが、業績に対する大きな影響はありませんでした。また、ロームグループの感染症対策の実施や現地における稼働制限の緩和に伴い、9月以降は通常稼働に戻りました。加えて、ロームグループはBCMの観点から、感染症対策を継続するとともに在庫の確保を行うなど安定供給の確保に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は自動車関連市場を中心に減少し、前年同期比11.0%減の1,680億4千9百万円、営業利益は前年同期比28.6%減の126億8千7百万円となりました。当第2四半期連結累計期間の営業利益率は前第2四半期連結累計期間の9.4%から7.5%に低下しました。

経常利益につきましては、営業利益の減少により前年同期比37.3%減の117億9千9百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、100%子会社のローム滋賀㈱を吸収合併（2020年4月1日付）し、同社の繰越欠損金に係る繰延税金資産の評価性引当額が減少したことにより、前年同期比8.7%減の125億2千7百万円となりました。

またロームグループで重視している経営指標について、当第2四半期連結累計期間のEBITDA（※2）は前年同期比17.7%減の320億4千8百万円となりました。

#### ※1. OSAT (Outsourced Semiconductor Assembly and Test)

半導体製造における後工程である組み立てとテストを請け負う製造業者のこと。

#### ※2. EBITDA (Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization)

税引前利益に支払利息、減価償却費を加えて求めたもの。グローバル企業等の収益力を比較する際によく利用される指標。ロームグループでは簡易的に営業利益に減価償却費を加えて算出しております。

#### 業績のセグメント別概況

##### <LSI>

当第2四半期連結累計期間の売上高は786億5百万円（前年同期比11.6%減）、セグメント利益は37億1千2百万円（前年同期比40.6%減）となりました。

自動車関連市場につきましては、市場低迷によりインフォテインメント（※3）向けの電源、各種ドライバICなどの売上が減少しました。産業機器関連市場につきましては、FA（ファクトリーオートメーション）関連市場向けを中心に下げ止まり感が見られました。民生機器関連市場につきましては、PC向けが好調であった一方、スマートフォンやAV機器向けなどを中心に総じて厳しい状況となりました。

#### ※3. インフォテインメント

主に自動車について用いられる言葉で、「情報：インフォメーション」と「娯楽：エンターテインメント」を実現するシステムの総称。

<半導体素子>

当第2四半期連結累計期間の売上高は654億3千2百万円（前年同期比8.1%減）、セグメント利益は76億8千3百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

トランジスタやダイオードにつきましては、産業機器関連市場向けで改善傾向が見られましたが、自動車関連市場向けを中心に売上が減少しました。パワーデバイス部門につきましては、自動車関連市場向けで売上が減少しました。また、発光ダイオードにつきましては、AV機器向けなどで売上が減少しました。半導体レーザーにつきましては、家電市場向けを中心に売上が増加しました。

<モジュール>

当第2四半期連結累計期間の売上高は151億2千6百万円（前年同期比17.4%減）、セグメント利益は11億7千4百万円（前年同期比49.8%減）となりました。

プリントヘッドにつきましては、決済端末向けを中心に売上が減少しました。オプティカルモジュールにつきましては、自動車関連市場向けのリアランプ用LEDモジュールの売上が減少しました。

<その他>

当第2四半期連結累計期間の売上高は88億8千5百万円（前年同期比15.1%減）、セグメント利益は4億7千7百万円（前年同期比56.4%減）となりました。

抵抗器につきましては、自動車関連市場向けで売上が減少しました。一方、タンタルコンデンサにつきましては、PC向けなどで売上が増加しました。

上記「業績のセグメント別概況」の記載は、外部顧客に対するものであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産は、前連結会計年度末に比べ46億1百万円増加し、8,534億7千4百万円となりました。主な要因といたしましては、有価証券が219億8千1百万円、投資有価証券が162億8千4百万円、たな卸資産が83億9千6百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が387億5千9百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ48億2千5百万円減少し、1,285億6千8百万円となりました。主な要因といたしましては、未払金が62億2千9百万円減少した一方、固定負債のその他が14億2千8百万円（うち長期未払金が12億7百万円）、繰延税金負債が10億9千9百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ94億2千6百万円増加し、7,249億5百万円となりました。主な要因といたしましては、その他有価証券評価差額金が142億7千6百万円増加した一方、自己株式の取得等により株主資本が36億8百万円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の84.2%から84.9%に上昇しました。

また、キャッシュ・フローの状況については、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間（338億5千万円のプラス）に比べ209億7千7百万円収入が減少し、128億7千2百万円のプラスとなりました。これは主に、マイナス要因としてたな卸資産が減少から増加に転じたこと、税金等調整前四半期純利益の減少、プラス要因として法人税等の支払額の減少によるものであります。

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間の58億8千8百万円のプラスから285億7千万円のマイナスに転じました。これは主に、マイナス要因として定期預金が減少から増加に転じたこと、プラス要因として有形固定資産の取得による支出の減少によるものであります。

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間（83億4百万円のマイナス）に比べ86億5千万円支出が増加し、169億5千5百万円のマイナスとなりました。これは主に、自己株式の取得による支出の増加によるものであります。

上記の要因に、換算差額による減少が14億3千1百万円加わり、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ340億8千5百万円減少し、2,414億5千4百万円となりました。



(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

上半期に大きく影響を与えた新型コロナウイルス感染症は、現時点においても、世界各地で蔓延しており、終息の兆しが見えないものの、徐々に各地域の経済活動は回復に向かっており、自動車関連市場などでも生産や販売の回復が見られます。

このような状況を踏まえ、上期の実績と10月以降の受注状況を考慮し、2021年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり公表させていただきます。

エレクトロニクス市場においては、中長期的には電子化のニーズの高まりにより自動車・産業機器市場が成長を続けていると考えており、民生機器関連市場でも省エネや小型化が成長に寄与すると考えております。

ロームグループでは、引き続き市場のニーズに合致した高付加価値製品の開発を進めてまいります。また生産面においても、先進の品質管理体制の構築や省人化・自動化の推進など、「モノづくり改革」を継続して進め、売上の増加と利益体質の強化に努めてまいります。

<連結業績予想>

	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	前期比増減率
売上高	3,628 億円	3,400 億円	△6.3%
営業利益	294 億円	230 億円	△22.0%
経常利益	357 億円	230 億円	△35.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	256 億円	190 億円	△25.9%

<セグメント別連結売上高予想>

	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	前期比増減率
L S I	1,704 億円	1,593 億円	△6.5%
半導体素子	1,390 億円	1,331 億円	△4.2%
モジュール	332 億円	282 億円	△15.0%
その他	201 億円	192 億円	△4.5%

下期の為替レートは、1米ドル=105円を前提としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	298,296	259,537
受取手形及び売掛金	74,834	80,115
電子記録債権	5,604	5,352
有価証券	17,427	39,408
商品及び製品	27,616	29,614
仕掛品	48,352	50,223
原材料及び貯蔵品	35,753	40,281
未収還付法人税等	488	804
その他	9,639	9,276
貸倒引当金	△123	△142
流動資産合計	517,888	514,472
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	241,085	241,592
機械装置及び運搬具	586,018	585,791
工具、器具及び備品	51,267	52,240
土地	66,594	66,648
建設仮勘定	26,207	26,537
その他	4,036	4,742
減価償却累計額	△731,425	△743,067
有形固定資産合計	243,784	234,486
無形固定資産		
のれん	1,391	1,242
その他	3,208	4,522
無形固定資産合計	4,599	5,765
投資その他の資産		
投資有価証券	66,237	82,521
退職給付に係る資産	1,340	1,569
繰延税金資産	4,862	5,189
その他	10,232	9,551
貸倒引当金	△72	△82
投資その他の資産合計	82,600	98,749
固定資産合計	330,984	339,002
資産合計	848,873	853,474

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,024	10,705
電子記録債務	3,838	3,364
未払金	20,803	14,574
未払法人税等	3,990	4,039
その他	22,710	22,305
流動負債合計	62,367	54,988
固定負債		
社債	40,935	40,835
繰延税金負債	17,430	18,529
退職給付に係る負債	10,908	11,034
その他	1,752	3,180
固定負債合計	71,026	73,580
負債合計	133,393	128,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	86,969	86,969
資本剰余金	102,403	102,403
利益剰余金	644,563	592,160
自己株式	△88,726	△39,931
株主資本合計	745,210	741,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,015	36,291
為替換算調整勘定	△47,517	△49,219
退職給付に係る調整累計額	△4,716	△4,253
その他の包括利益累計額合計	△30,219	△17,181
非支配株主持分	488	483
純資産合計	715,479	724,905
負債純資産合計	848,873	853,474

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
売上高	188,834	168,049
売上原価	130,433	115,882
売上総利益	58,401	52,167
販売費及び一般管理費	40,630	39,479
営業利益	17,771	12,687
営業外収益		
受取利息	2,076	1,010
受取配当金	538	386
その他	907	487
営業外収益合計	3,522	1,884
営業外費用		
為替差損	2,201	2,669
和解金	162	-
その他	104	103
営業外費用合計	2,468	2,772
経常利益	18,824	11,799
特別利益		
固定資産売却益	145	65
投資有価証券売却益	1,734	-
特別利益合計	1,879	65
特別損失		
固定資産売却損	44	38
固定資産廃棄損	68	96
減損損失	112	47
投資有価証券売却損	5	-
投資有価証券評価損	32	139
特別退職金	620	-
特別損失合計	883	322
税金等調整前四半期純利益	19,821	11,542
法人税、住民税及び事業税	5,807	4,600
法人税等調整額	289	△5,598
法人税等合計	6,097	△997
四半期純利益	13,723	12,539
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,713	12,527

（四半期連結包括利益計算書）  
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
四半期純利益	13,723	12,539
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△177	14,276
為替換算調整勘定	△8,485	△1,695
退職給付に係る調整額	△0	463
その他の包括利益合計	△8,664	13,044
四半期包括利益	5,059	25,584
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,052	25,565
非支配株主に係る四半期包括利益	6	18

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	19,821	11,542
減価償却費	21,146	19,360
減損損失	112	47
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△597	31
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△688	182
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	60	261
特別退職金	620	-
受取利息及び受取配当金	△2,614	△1,396
為替差損益（△は益）	2,088	446
有価証券及び投資有価証券評価損益（△は益）	32	139
固定資産売却損益（△は益）	△101	△27
売上債権の増減額（△は増加）	△5,186	△5,092
たな卸資産の増減額（△は増加）	10,178	△8,569
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,229	△769
未払金の増減額（△は減少）	△1,783	△1,511
その他	△17	2,147
小計	41,841	16,792
利息及び配当金の受取額	2,697	1,550
利息の支払額	△5	△0
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△8,449	△4,861
特別退職金の支払額	△2,233	△608
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,850	12,872
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額（△は増加）	25,663	△13,083
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△4,703	△5,596
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	11,168	6,102
有形固定資産の取得による支出	△25,549	△15,544
有形固定資産の売却による収入	414	77
その他	△1,104	△525
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,888	△28,570
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△2	△8,710
配当金の支払額	△7,837	△7,462
その他	△464	△782
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,304	△16,955
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,722	△1,431
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	26,712	△34,085
現金及び現金同等物の期首残高	228,065	275,539
現金及び現金同等物の四半期末残高	254,778	241,454

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（自己株式の取得）

当社は、2019年11月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,364,700株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が8,709百万円増加しております。

（自己株式の消却）

当社は、2020年6月12日開催の取締役会決議に基づき、2020年6月24日付で、自己株式7,000,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ57,462百万円減少しております。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて）

ロームグループにおきましては、新型コロナウイルス感染症による需要減に加えて、フィリピンなどにおける新型コロナウイルス感染症対策の政府発令による工場の稼働制限等がロームグループ全体としての出荷に一時的な影響を及ぼしたものの、現時点では平常時の稼働状況に戻っております。

しかし、今後の世界経済及びロームグループにおける市場環境の見通しにつきましては、依然として当該感染症の終息の時期や内外経済に与える影響が見通せないため、先行きは非常に不透明感の強い状況にあります。

このような状況の中、顧客の生産調整等による受注減の影響が少なくとも2021年3月期を通して生じるとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性、固定資産の評価等の会計上の見積りを行っております。

（セグメント情報）

前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	L S I	半導体 素子	モジュ ール	計				
売 上 高								
外部顧客への売上高	88,889	71,174	18,311	178,374	10,460	188,834	—	188,834
セグメント間の内部 売上高又は振替高	965	2,733	—	3,699	30	3,729	△3,729	—
計	89,854	73,907	18,311	182,073	10,490	192,564	△3,729	188,834
セグメント利益	6,247	7,623	2,340	16,212	1,094	17,307	463	17,771

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業、タンタルコンデンサ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額463百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△245百万円、セグメントには配賦しない決算調整額（退職給付費用の調整額等）709百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)  
 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	L S I	半導体 素子	モジュ ール	計				
売 上 高								
外部顧客への売上高	78,605	65,432	15,126	159,163	8,885	168,049	—	168,049
セグメント間の内部 売上高又は振替高	773	2,830	—	3,604	28	3,633	△3,633	—
計	79,378	68,263	15,126	162,768	8,914	171,682	△3,633	168,049
セグメント利益	3,712	7,683	1,174	12,570	477	13,047	△360	12,687

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業、タンタルコンデンサ事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△360百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△777百万円、セグメントには配賦しない決算調整額(退職給付費用の調整額等)417百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。